

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	経絡経穴学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	講義室
担 当 教 員	嶋田 琢磨	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
はり師・きゅう師の資格取得、および鍼灸臨床に必要となる正経十二経脈と督脈、任脈を合わせた十四経脈の流注を理解し、所属する経穴名、取穴するための部位を習得することを目的とする。各経脈の流注を概説できる。各経脈の所属経穴、要穴を列挙できる。経穴の取穴を骨度法と解剖学的指標を使って説明できる。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験80%、確認試験20%(3回実施)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新版 経絡経穴概論第2版 医道の日本社、2009年						
《授業外における学習方法》						
学習には筋骨格系、末梢神経系および、循環器系の解剖学の知識や陰陽・五行論などの東洋医学の知識が必要となる。そのためこれらに関連付けながら学習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書持参を徹底すること。講義には真摯な姿勢で取り組み、その時間内で講義内容を理解することを心がける。覚えることが多いため、復習を徹底すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	足の厥陰肝経の流注と所属経穴、要穴を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	大敦～期門、所属経穴の要穴について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇穴の部位と主治を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	四神聡～患門について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇穴の部位と主治を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	肩内陵～脚気八処の穴について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇経八脈の流注、所属経穴について説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	督脈、任脈、衝脈、帯脈について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇経八脈の流注、所属経穴について説明できる。	教科書・配布プリント		
		各コマにおける授業予定	陽蹻脈、陰蹻脈、陽維脈、陰維脈について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇経八脈の流注、所属経穴について説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	奇経八脈の宗穴、その組み合わせ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	経絡・経穴の現象的研究について概説できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	経絡現象～経穴現象について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部と腰背部にある経穴の位置関係を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	腹部の横並びについて		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部と腰背部にある経穴の位置関係を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	腰背部の横並びについて		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経、動脈と経穴の関係を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	経穴と動脈拍動部について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経、動脈と経穴の関係を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	三叉神経領域と経穴について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経、動脈と経穴の関係を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	デルマトームと経穴について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	各経脈の経穴を解剖学的、東洋医学的に説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	肺経～膀胱経の復習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各経脈の経穴を解剖学的、東洋医学的に説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	腎経～奇穴の復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	各授業の要点を理解し、各経脈の流注、経穴、要穴を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	総合演習により講義内容を振り返り、理解度を測る。		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	経絡経穴学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	講義室
担 当 教 員	嶋田 琢磨	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
はり師・きゅう師の資格取得、および鍼灸臨床に必要となる正経十二経脈と督脈、任脈を合わせた十四経脈の流注を理解し、所属する経穴名、取穴するための部位を習得することを目的とする。各経脈の流注を概説できる。各経脈の所属経穴、要穴を列挙できる。経穴の取穴を骨度法と解剖学的指標を使って説明できる。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験80%、確認試験20%(3回実施)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新版 経絡経穴概論第2版 医道の日本社、2009年						
《授業外における学習方法》						
学習には筋骨格系、末梢神経系および、循環器系の解剖学の知識や陰陽・五行論などの東洋医学の知識が必要となる。そのためこれらに関連付けながら学習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書持参を徹底すること。講義には真摯な姿勢で取り組み、その時間内で講義内容を理解することを心がける。覚えることが多いため、復習を徹底すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	足の少陽胆経の流注と所属経穴、要穴を理解する。	教科書・配布プリント		授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	風市～足竅陰、所属経穴の要穴について(p.196-201)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	足の厥陰肝経の流注と所属経穴、要穴を理解する。	教科書・配布プリント		授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	大敦～期門、所属経穴の要穴について(p.202-209)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇穴の部位と主治を理解する。	教科書・配布プリント		授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	四神聡～患門について(p.215-223)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇穴の部位と主治を理解する。	教科書・配布プリント		授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	肩内陵～脚気八処の穴について(p.224-229)			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇経八脈の流注、所属経穴について理解する。	教科書・配布プリント		授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	督脈、任脈、衝脈、帯脈について(p.212)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇経八脈の流注、所属経穴について理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	陽蹻脈、陰蹻脈、陽維脈、陰維脈について(p.212-213)			
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	経絡・経穴の現象的研究について概説できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	経絡現象～経穴現象について(p.232-235)			
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部と腰背部にある経穴の位置関係を理解できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	腹部と腰背部の横並びについて(p.242)			
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経、筋、動脈と経穴の関係を理解できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	頭部、後頸部、顔面部の経穴と局所解剖について			
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経、筋、動脈と経穴の関係を理解できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	腰背部、胸腹部の経穴と局所解剖について			
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経、筋、動脈と経穴の関係を理解できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	上肢・下肢の経穴と局所解剖について			
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	各経脈の経穴を解剖学的、東洋医学的に説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	肺経～膀胱経の復習			
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	各経脈の経穴を解剖学的、東洋医学的に説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	腎経～奇穴の復習			
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	各経脈の経穴を解剖学的、東洋医学的に説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	問題演習			
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	各授業の要点を理解し、各経脈の流注、経穴、要穴を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
	各コマにおける授業予定	総合演習により講義内容を振り返り、理解度を測る。			